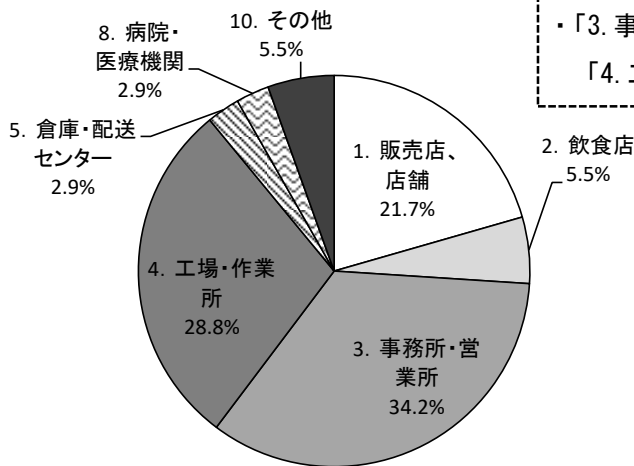


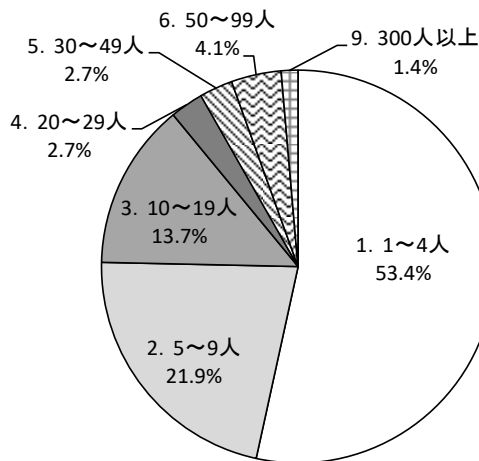
■事業形態



・「3. 事務所・営業所」[34.2%]が最も多く、次いで「4. 工場・作業所」[28.8%]となっている。

1. 販売店、店舗	15
2. 飲食店	4
3. 事務所・営業所	25
4. 工場・作業所	21
5. 倉庫・配送センター	2
8. 病院・医療機関	2
10. その他	4

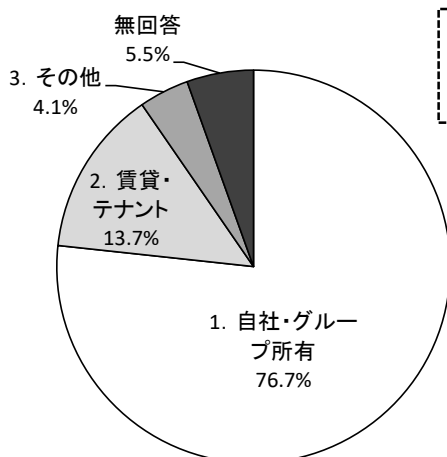
■従業員数（非正規従業員含む）



・従業員数は「1. 1~4人」[53.4%]が半数以上で、10人未満の事業所が75.3%を占める。

1. 1~4人	39
2. 5~9人	16
3. 10~19人	10
4. 20~29人	2
5. 30~49人	2
6. 50~99人	3
9. 300人以上	1

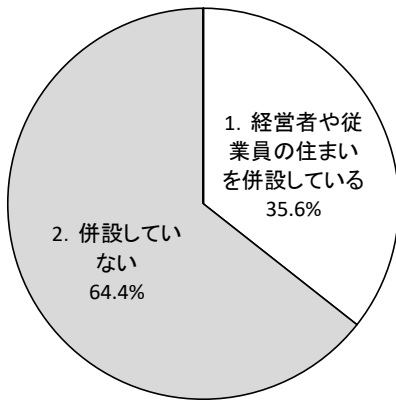
■事業所の所有形態



・「2. 賃貸・テナント」は少なく、「1. 自社・グループ所有」の割合が76.7%と高い。

1. 自社・グループ所有	56
2. 賃貸・テナント	10
3. その他	3
無回答	4

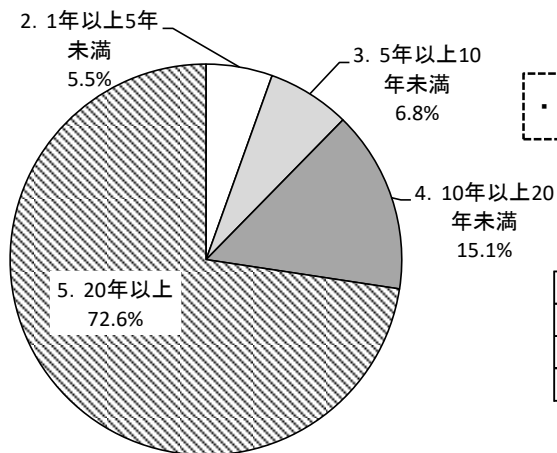
■住宅併設



・「1. 経営者や従業員の住まいを併設している」事業所と比べ「2. 併設していない」事業所の割合が高い。[64.4%]

1. 経営者や従業員の住まいを併設している	26
2. 併設していない	47
3. その他	0

■営業年数



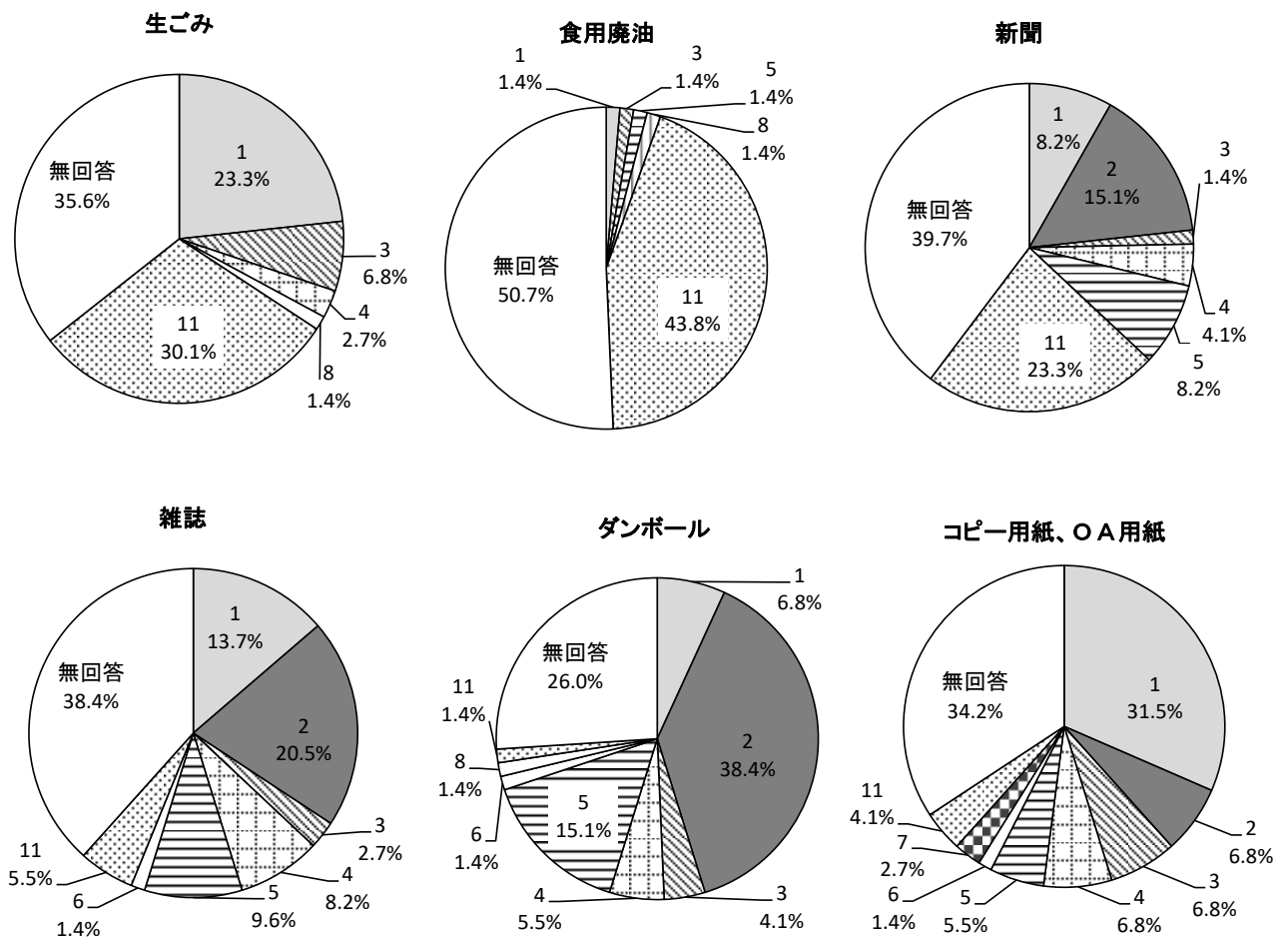
・営業年数は「5. 20年以上」の割合が高い。[72.6%]

2. 1年以上5年未満	4
3. 5年以上10年未満	5
4. 10年以上20年未満	11
5. 20年以上	53

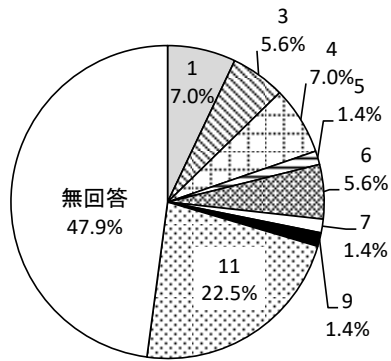
問1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。排出方法については下記の選択肢から該当する番号をそれぞれ選んで、番号を記入し、1か月当たりの排出量を記入してください。（排出方法が複数の場合は多いものを記入してください）また、分別の有無については行っているものに○を、分別していない場合はその理由を右欄に記入してください。

《選択肢》

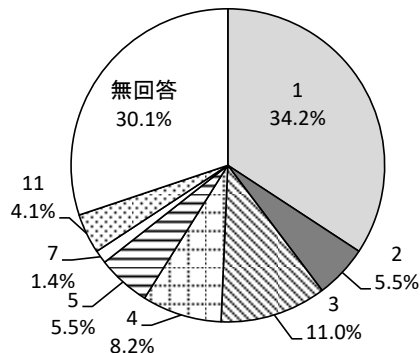
- ① 一般廃棄物収集運搬業許可業者にごみとして出している
- ② 一般廃棄物収集運搬業許可業者に資源物として出している
- ③ 自らみどり園に直接搬入している
- ④ 産業廃棄物処理業者に処理を委託している
- ⑤ リサイクル業者に売却している
- ⑥ 処理費用を支払って直接リサイクル業者に資源化を依頼している
- ⑦ 企業内・企業グループ内でリサイクルしている
- ⑧ 納入業者（販売者）が回収している
- ⑨ 本社（本店）が一括しているので分からない
- ⑩ 建物の管理会社に任せているので分からない
- ⑪ 発生しない



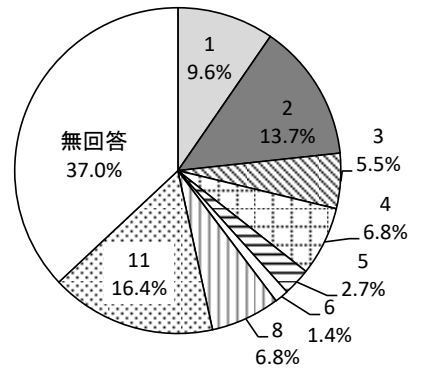
機密文書



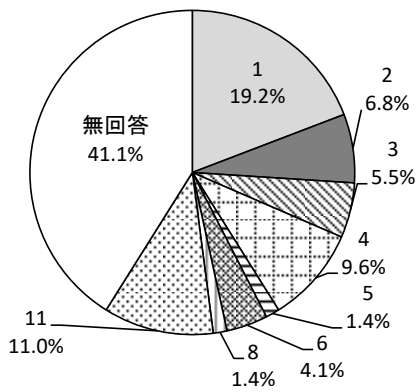
雑紙(メモ用紙、伝票、封筒、空き箱、シュレッダーくず)



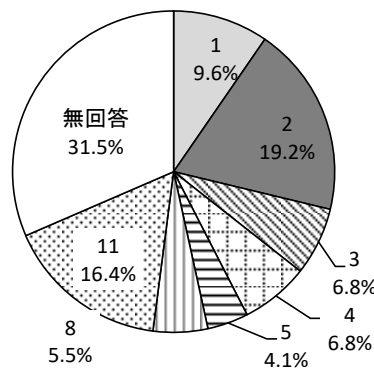
ペットボトル



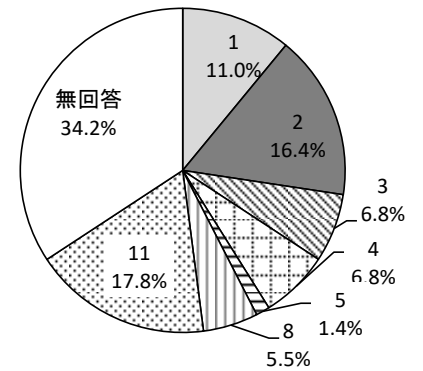
プラスチック類



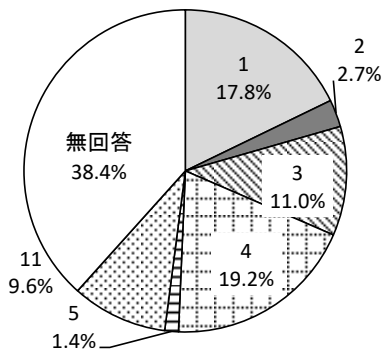
缶類



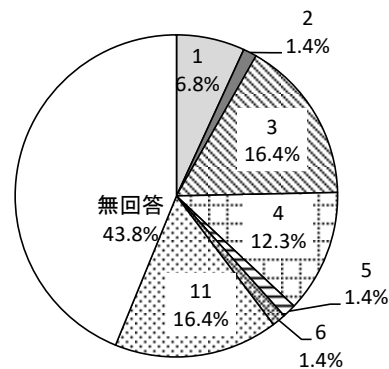
びん



不燃ごみ



粗大ごみ

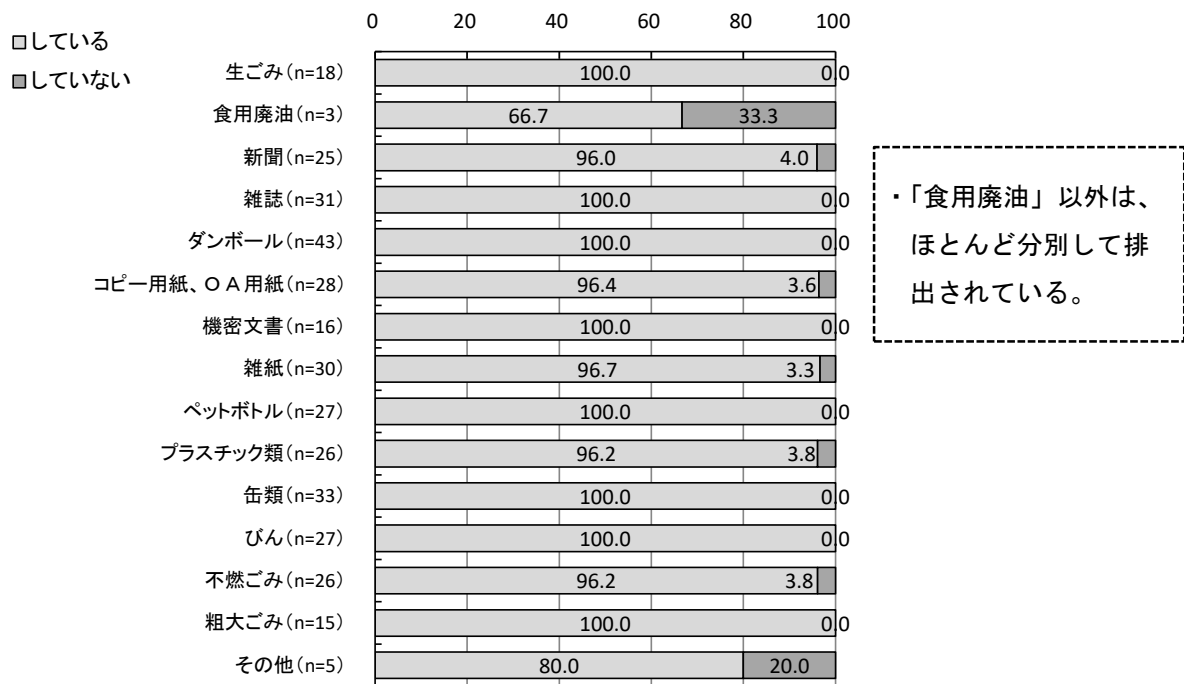


- ・「新聞」、「雑誌」、「ダンボール」等の紙類は、「②一般廃棄物収集運搬業許可業者に資源物として出している」もしくは「⑤リサイクル業者に売却している」割合が他のごみ・資源と比べて高い。
- ・「コピー用紙、OA用紙」は、「①許可業者にごみとして出されている」割合が高い。
- ・「雑紙」は「③自らみどり園に直接搬入している」割合が高い。
- ・「ペットボトル」、「プラスチック類」など本来産業廃棄物である品目についてもみどり園に搬入されている。

	生ごみ	食用廃油	新聞	雑誌	ダンボール	コピー用紙、OA用紙	機密文書	雑紙	ペットボトル	プラスチック類	缶類	びん	不燃ごみ	粗大ごみ	その他
1	17	1	6	10	5	23	6	25	7	14	7	8	13	5	0
2	0	0	11	15	28	5	0	4	10	5	14	12	2	1	0
3	5	1	1	2	3	5	4	8	4	4	5	5	8	12	3
4	2	0	3	6	4	5	5	6	5	7	5	5	14	9	2
5	0	1	6	7	11	4	1	4	2	1	3	1	1	1	0
6	0	0	0	1	1	1	4	0	1	3	0	0	0	1	1
7	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0
8	1	1	0	0	1	0	0	0	5	1	4	4	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	22	32	17	4	1	3	17	3	12	8	12	13	7	12	0
無回答	26	37	29	28	19	25	34	22	27	30	23	25	28	32	67

雑紙：メモ用紙、伝票、封筒、空き箱、シュレッダーくず

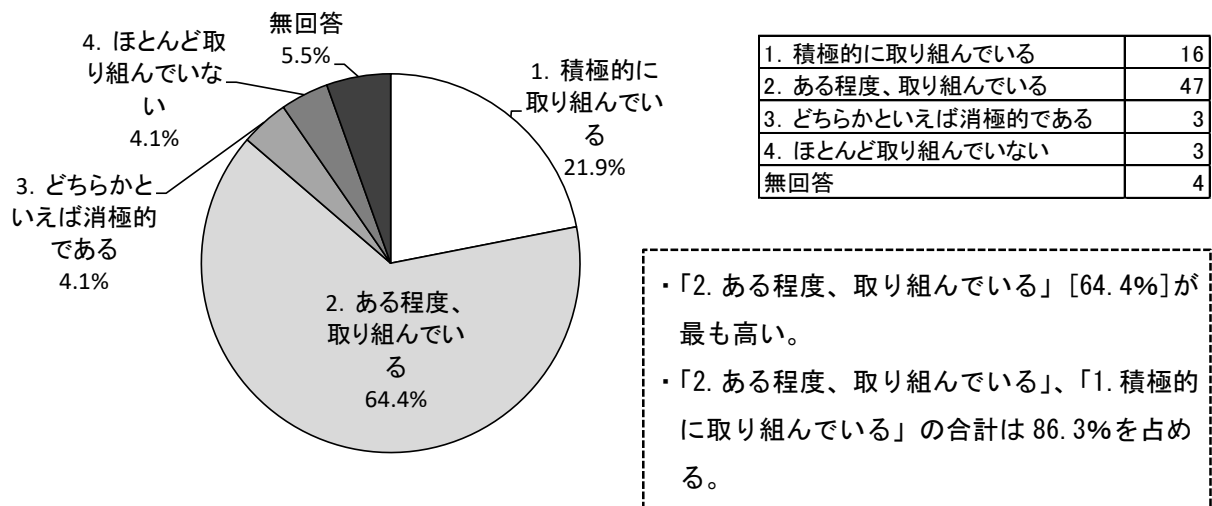
■分別の有無



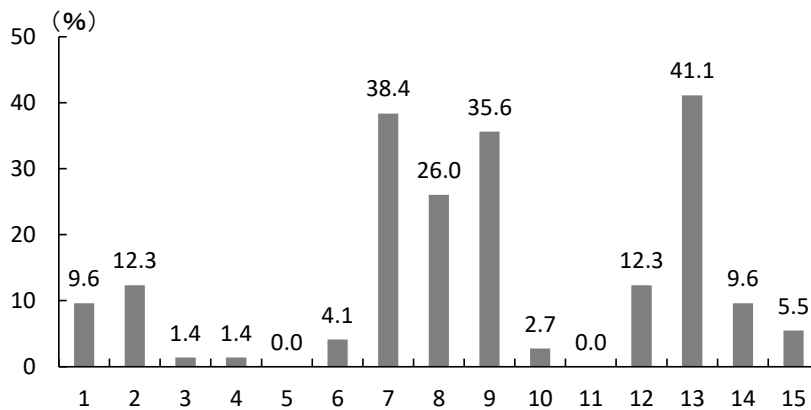
分別	生ごみ	食用廃油	新聞	雑誌	ダンボール	コピー用紙、OA用紙	機密文書	雑紙	ペットボトル	プラスチック類	缶類	びん	不燃ごみ	粗大ごみ	その他
○	18	2	24	31	43	27	16	29	27	25	33	27	25	15	4
×	0	1	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	1

○：分別している ×：分別していない

問2 貴事業所のごみ減量化・資源化に関する取組についてお聞きます。(○は1つ)



問3 貴事業所では、ごみ減量化・資源化に関してどのような取組を行っていますか。(〇はいくつでも)

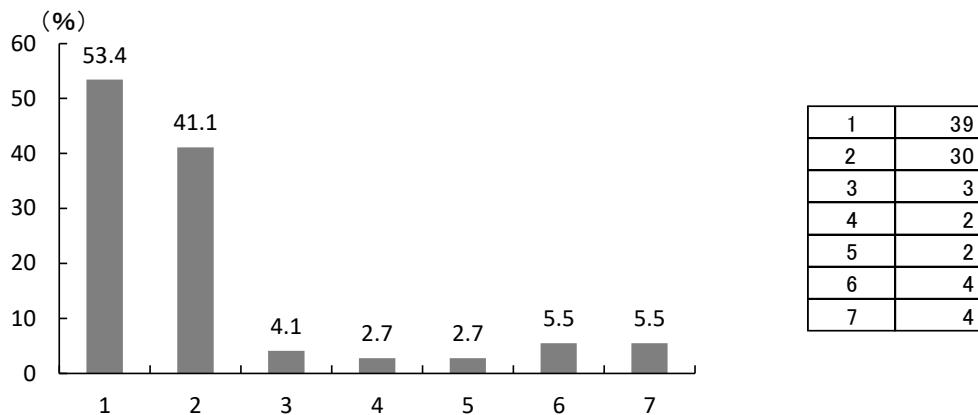


1	7
2	9
3	1
4	1
5	0
6	3
7	28
8	19
9	26
10	2
11	0
12	9
13	30
14	7
15	4

1. 減量目標を定めて、ごみの減量に取り組んでいる
2. ごみの減量化や資源化を事業所内に呼びかけている
(ポスターや注意書きの掲示など)
3. ごみの減量化や資源化を推進する部署や担当者を設置している
4. ごみの減量化や資源化のマニュアルを作成している
5. ごみに関する検討委員会や組織を設置している
6. 取引先や納入業者に簡易包装等の省資源化や通い箱の使用を依頼している
7. 書類のペーパーレス化に努めている
8. 古紙回収箱を設置している
9. 缶やびんの分別回収箱を設置している
10. 周辺の事業所と協働して古紙を資源化している
11. 排出するごみや資源物の計量を行っている
12. 紙コップなど使い捨て製品の使用削減に努めている
13. 再生紙など再生用品の使用に努めている
14. 特に取り組んでいない
15. その他

- ・「13. 再生紙など再生用品の使用に努めている」[41.1%]が最も高い。次いで「7. 書類のペーパーレス化に努めている」[38.4%]、「9. 缶やびんの分別回収箱を設置している」[35.6%]の順である。
- ・「3. 推進部署や担当者の設置」や「4. マニュアル作成」を行っている事業所は少ない。担当者等を設置している事業所へ実施内容を確認したところ、取り組みを実施するきっかけは分別の改善と処理費用の抑制が主であり、実際に処理費用は削減されているとのことであった。また、社員等への意識付けも浸透してきていることがわかった。

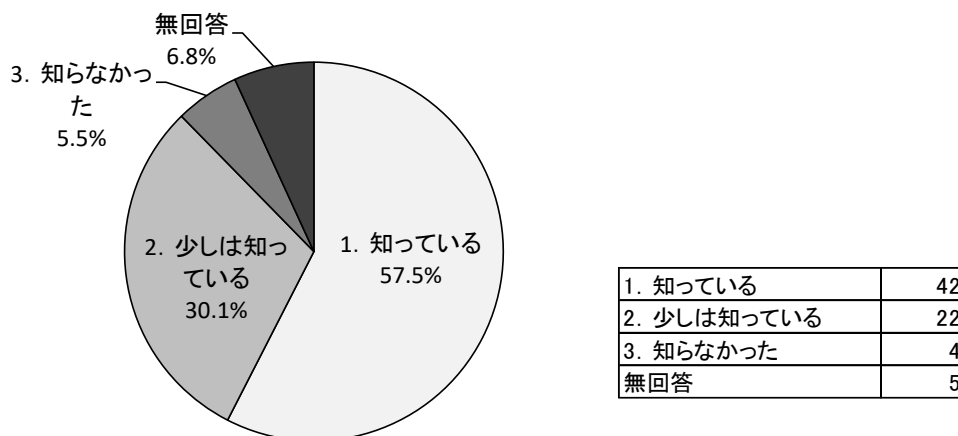
問4 貴事業所で、ごみ減量化・資源化に取り組む主な理由は何ですか。(〇はいくつでも)



1. ごみを減らすことでコスト削減につながるため
2. 会社の社会的責任を果たすため
3. 会社の宣伝やイメージアップを図るため
4. ISO14001等の認証を取得している(または取得したい)ため
5. 法律で定められているため
6. 会社全体で規定されているため
7. その他

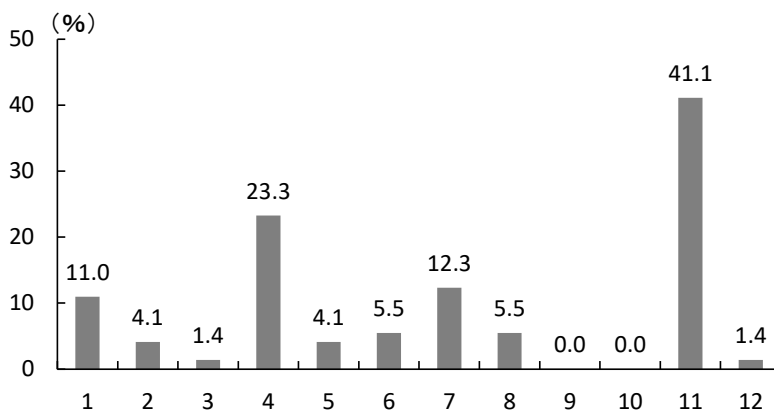
・「1. ごみを減らすことでコスト削減につながるため」[53.4%]が最も高い。

問5 事業活動により発生するごみは、事業者の責任において処理することが義務付けられています。このことについて知っていましたか。(〇は1つ)



・「1. 知っている」[58.8%]が最も高いが、「2. 少しは知っている」、「3. 知らなかった」をあわせると35.6%あり、これらの事業所で廃棄物の排出者責任についての認識が低いと想定される。

問6 貴事業所で、ごみ減量化・資源化を進めていくうえでの問題点は何ですか。(〇はいくつでも)

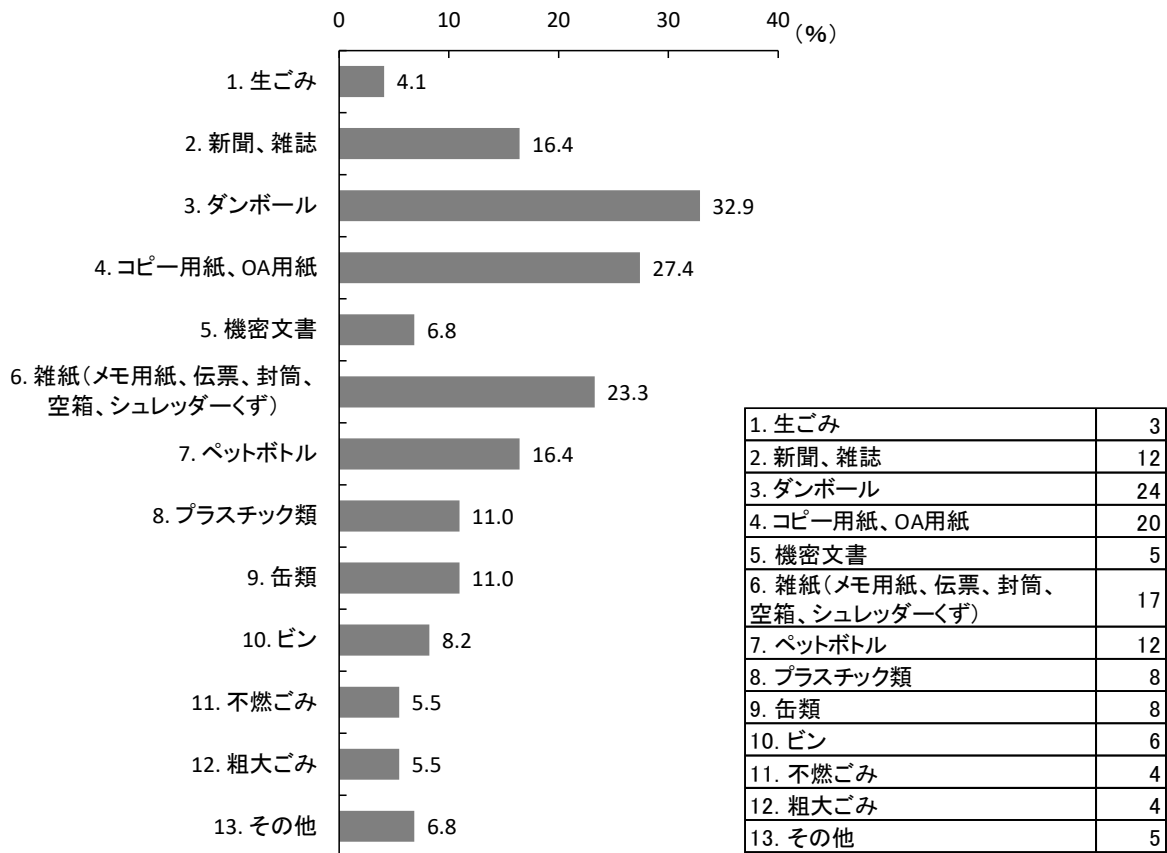


1	8
2	3
3	1
4	17
5	3
6	4
7	9
8	4
9	0
10	0
11	30
12	1

1. 資源物を保管しておく場所がない
2. 資源物やリサイクル可能な不用品の引渡し先（回収業者）が分からない
3. 従業員に分別の徹底やごみ減量の意識を浸透させることが難しい
4. 資源化できるものが出ない、または発生量が少ない
5. ごみの減量化、分別に手間がかかる
6. ごみの減量化、分別に費用がかかる
7. 機密書類が多く、リサイクルが難しい
8. 産業廃棄物との区別が難しい
9. 分別や排出方法のルールが分からない、理解しにくい
10. ごみ処理について質問や相談する窓口（市）が分からない
11. 特に問題ない
12. その他

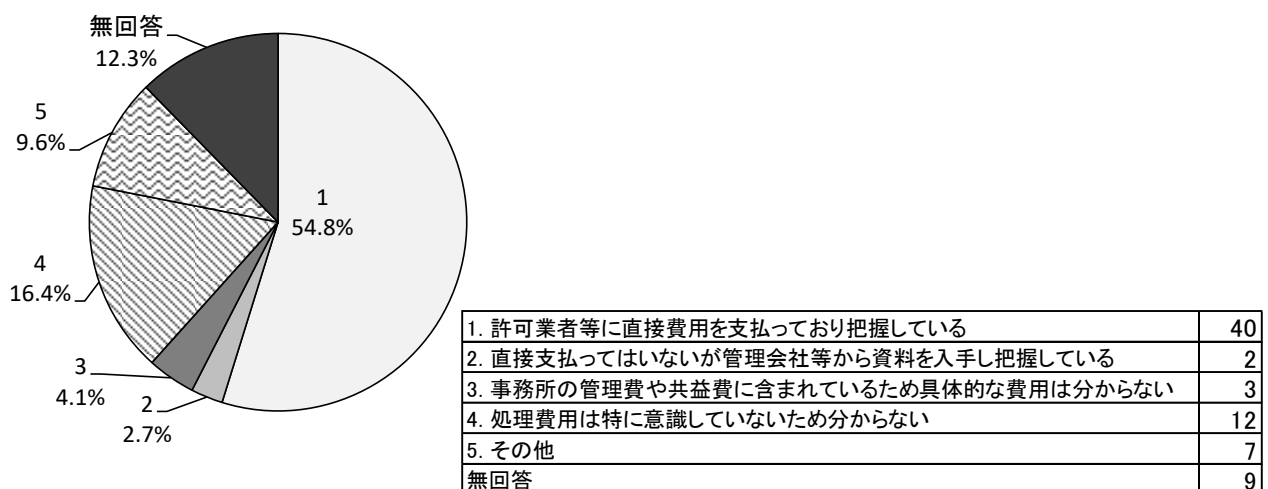
- ・「4. 資源化できるものが出ない、または発生量が少ない」[23.3%]となっている。
- ・問題としては、「7. 機密書類が多く、リサイクルが難しい」[12.3%]、「1. 資源物を保管しておく場所がない」[11.0%]が高くなっている。

問7 貴事業所で、今後減量化、資源化を進めたいと考えている品目はありますか。(〇はいくつでも)



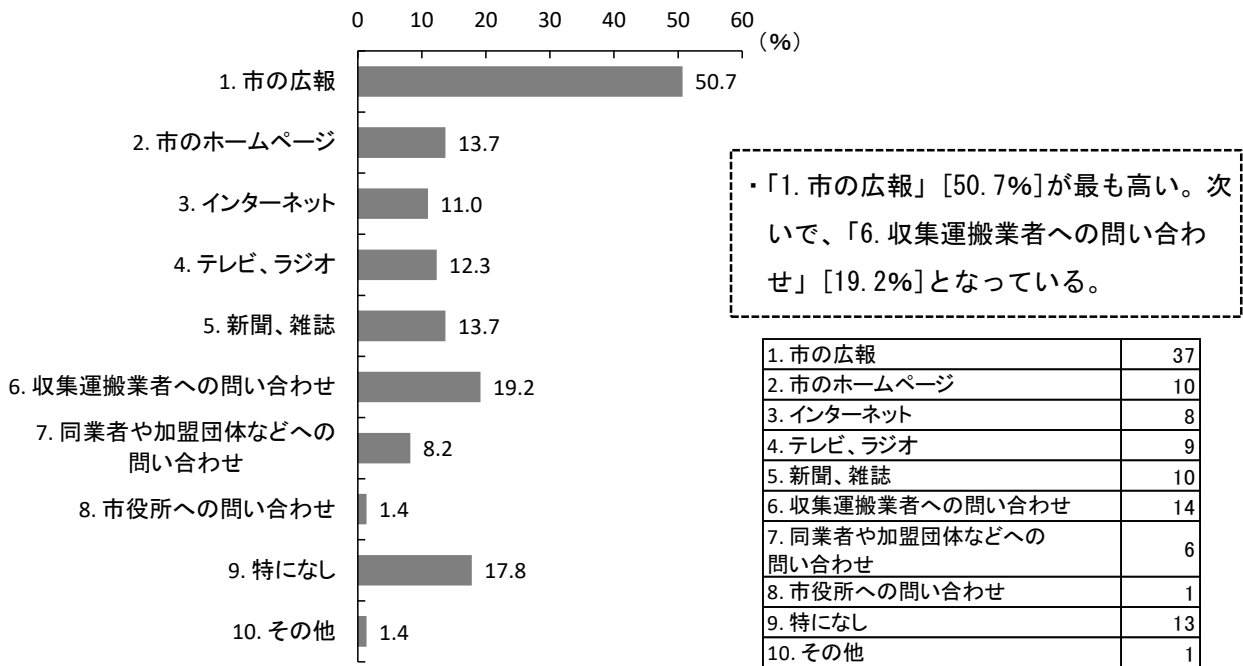
・「5. 機密文書」を除いた紙類が多く、「3. ダンボール」[32.9%]、「4. コピー用紙、OA用紙」[27.4%]、「6. 雑紙」[23.3%]となっている。

問8 貴事業所において、ごみ処理にかかる費用について把握していますか。(〇は1つ)

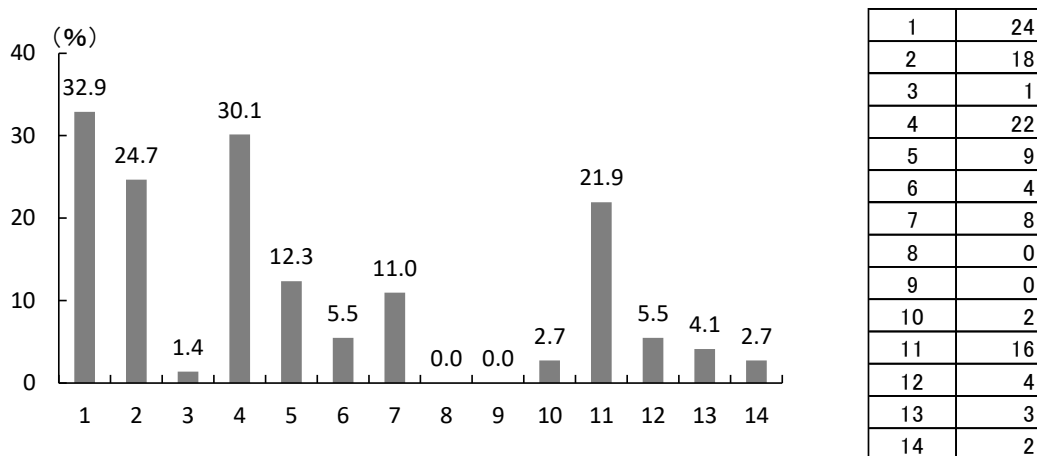


・「1. 許可業者等に直接費用を支払っており把握している」[54.8%]が最も高く、「2. 直接支払っていないが管理会社等から資料を入手し把握している」を合わせると、費用を把握している割合は57.5%となる。

問 9 ごみ減量やリサイクルに関する情報をどのようにして入手していますか。(〇はいくつでも)



問 10 ごみ減量化・資源化を進めていくためには、どのような施策が必要だと思いますか。(〇は3つまで)



- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. 事業者に対するごみの減量・リサイクルの啓発、指導 | 3. 優良事業所の紹介や表彰 |
| 2. ごみ減量化・資源化マニュアルの提供 | 5. 収集運搬業者、処理業者に関する情報提供 |
| 4. ごみ減量化・資源化の事例紹介 | 7. ごみ処理に関する相談窓口や体制の充実 |
| 6. 法令や条例等の規制に関する情報提供 | 9. 罰則制度の強化・徹底 |
| 8. 事業者を対象とした廃棄物の講習会の開催 | 11. リサイクル事業の拡充 |
| 10. ごみ収集運搬業者の指導強化 | 13. 社内研修などによる従業員の意識向上 |
| 12. 資源循環の推進 | |
| 14. その他 | |

・「1. 事業者に対するごみの減量・リサイクルの啓発、指導」[32.9%]が最も高い。
 ・次いで「4. ごみ減量化・資源化の事例紹介」[30.1%]、「2. ごみ減量化・資源化マニュアルの提供」[24.7%]となっている。

ごみ減量化・資源化についてのご意見などをご自由にお書きください。

(6件)

- ・平成27年12月31日を持って廃業致しました。ごみの減量化には協力しております。
- ・従業員数も少人数のため、全員弁当持参なので生ごみなどは、ほとんど出ません。事務所においても、納品書などは取引先より指定のもので、納入のため少量だしコピー用紙やFAX用紙はすべてメモ用紙として利用しているため、ごみとしては少量です。
- ・市内130事業所に入れて下さり、アンケート調査に参加させて頂きました。しかし、私どもは冒頭の業種に該当するものが無く、設問1では⑩で、調査のご主旨から想像すると私どもは蚊帳の外（門外漢？）とも思えます。（農林関係）
- ・仕事内容上、ごみの発生はありません。
- ・(問3-14について)昔から単に捨てるのではなく、全て処理業者に依頼している。新聞、雑誌、ダンボール等は売却、不燃ごみ（鉄、銅 etc）も売却、工業用の油は処理業者依頼、普通の紙くず等を捨てているだけ。
- ・酒販店をしています。店以外にも外に自販機を置いていて、大量の缶やペットボトルが返ってくるので分別するのが大変です。分別しても、業者用なので市のゴミステーションに出さないで、お金を払って処理しています。少し位、市のステーションに出せるようになれば、金銭的にも色々な面で助かると思います。また、よろしくお願いします。